

令和8年度観光関連事業計画

1 趣旨

市では令和7年度から、(株)まちの灯台阿久根との連携強化により、戦略的・計画的に観光振興策を展開していくこととしている。

本事業計画は、第3期まちづくりビジョンにおいて示した今後5年間（令和7～11年度）の観光振興に係る方針に基づき、令和8年度において市と(株)まちの灯台阿久根が連携して取り組む事業等を取りまとめたものである。

2 まちづくりビジョンにおける観光振興の方向性等

(1) 方向性

- ① 阿久根大島の活用
- ② 体験型観光コンテンツの充実と飲食・宿泊等との連携
- ③ 「食」に特化した取組の強化
- ④ まちづくり事業等を志す人材の発掘・呼び込み
- ⑤ 人流データ等を活用した計画的な本市のPR

(2) KPI

- ① 阿久根大島の来島者数：R7約5,300人→10,000人
- ② 体験型観光コンテンツによる売上額：12,500千円→25,000千円以上
- ③ 市内観光消費額の対前年増加率：県平均以上

3 令和8年度事業計画

(1) 阿久根大島の活用

他の自治体と差別化し得る本市固有の観光資源である阿久根大島においては、夏季の海水浴場利用に加え、通年での利用促進を図っていくこととする。また、フェリー運航会社との密な協議や指定管理者も含めた連携を強化する。

① ハード面

現状、阿久根大島内の施設・設備は老朽化が著しく、また、冷房設備がないなど、お客様が快適に島内で過ごせる環境にはないところである。

このため、島内の使用していない老朽化施設の解体や設備の更新など、誘客のための最小限の施設・設備の整備等に係る計画（以下、「整備計画」という。）を作成し、必要経費を算出するとともに、活用可能な国・県の事業等についての情報収集及び調整を行う。

なお、令和7年度に実施した庁内若手職員等による現地視察の結果を

踏まえ、令和9年度に整備計画に基づく整備等を行えるように調整を進めることとし、整備計画作成に当たっては、関係事業者等の意見等を踏まえつつ、検討をする。

② ソフト面

令和7年度から指定管理者がゴールデンウィーク期間中など海開き期間外においてイベントを開催するなど、積極的な取組を実施しているところであり、この動きに併せ、以下の取組を実施する。

- ・ 阿久根大島におけるイベント等の広報計画の作成・実施
- ・ 関係事業者が阿久根大島で実施するコンテンツの内容確認・PR
- ・ 指定管理者と体験型観光コンテンツ提供事業者との連携による新たなイベントの創出や既存イベントの充実
- ・ 「お客様満足度調査」の実施 など

(2) 体験型観光コンテンツの充実と飲食・宿泊等との連携

市の資源を活用した体験型観光コンテンツの充実は、一度に多くの方を集客できる観光施設等が少ない本市として、これまでも地域おこし協力隊や関係事業者等と連携しながら取り組んできたところである。

これまでの取組を踏まえ、引き続き、地域おこし協力隊や関係事業者等と連携を図りながら、コンテンツの充実を図るとともに、コンテンツを利用されたお客様を市内の飲食・宿泊施設へつなげていくための連携体制構築等に向けた以下の取組を実施する。

① 体験型観光コンテンツの充実に向けた取組

- ・ 新たなコンテンツの開発に係る伴走支援
- ・ コンテンツのデータベース等を活用した事業者の連携による新たなコンテンツ開発に向けた調整
- ・ 夏場以外のコンテンツの開発に向けた検討・調整
- ・ 体験会の開催 など

② 飲食・宿泊施設との連携

- ・ 宿泊施設間の連携を促進するため目的別（ビジネス来訪向け・観光来訪向けなど）の連絡会の設置
- ・ 飲食・宿泊事業者、体験型観光コンテンツ提供事業者の連携を促進するための事例発表会やアイデア出し・勉強会等の開催
- ・ 市民を対象とした榑まちの灯台阿久根の取組発表や体験型観光コンテンツ事業者等による事例発表会等の開催 など

(3) 「食」に特化した取組の強化

これまで、本市においては「うにと阿久根の旬祭り」や「伊勢えび祭り」

など、本市の強みの1つである「食」に特化した取組を行ってきたところである。

「食」は旅行の目的となり得ることから、県内だけではなく、県外からも阿久根の「食」を目的とした多くのお客様に来ていただけるよう、以下の取組を実施する。

- ・ 令和7年度に実施した飲食店組合加盟店舗と行った座談会の結果を踏まえた新たな食のイベントの創出
- ・ 特産品協会、飲食店組合を対象とした県外から誘客を促進するための「食」に関するセミナーの開催に向けた検討・調整
- ・ 市内における「新商品コンクール（仮称）」の開催に向けた検討
- ・ 特産品協会、飲食店組合、生産者等との連携による新商品開発等に関する仕組みの構築に向けた検討・調整
- ・ 飲食店におけるメニューの多言語化対応の支援 など

(4) 地域課題解決型ビジネスなどまちづくり事業を志す人材の発掘等

一度に多くの方を集客できる観光施設等が少ない本市にとっては、体験型観光コンテンツの提供など、本市の観光振興を図る上では、阿久根をフィールドに、関係者等を巻き込みつつ、地域資源等を生かした魅力的な事業・取組を展開する「人材」に特化した取組を強化する必要がある。

このため、まちづくり事業等を志す人材の発掘・呼び込みにつながる事業を展開していくため、以下の取組を実施する。

- ・ 令和7年度に実施したビジネススクールを踏まえ、ビジネスコンテストの実施に向けた検討・調整
- ・ まちづくり事業等で起業する方の支援策の検討・調整
- ・ 令和5年度から実施しているワーケーション事業参加者のうち、本市への移住・定住等の可能性のある方との連携（状況確認）
- ・ 市民を対象とした（株）まちなかの灯台阿久根の取組発表や体験型観光コンテンツ事業者等による事例発表会等の開催【再掲】 など

(5) その他

① データ収集・分析等観光消費額調査、人流データ収集・分析

- ・ 観光消費額調査の実施
市内主要観光施設等と連携し、半年ごとに観光消費額調査を実施する。
- ・ 人流データの収集・分析
スマホの位置情報等による人流データを収集し、来訪者属性等のデータを飲食・宿泊施設等関係事業者等と共有する。
また、（株）まちなかの灯台阿久根とも連携し、市内主要観光施設間の人流

を把握・分析し、市内での周遊を促す施策を検討する。

② 効果的なPR方策の検討

市観光サイトの見直しや観光パンフレットの修正（「はじめてのあくね本」の時点修正など）、出展イベントの調整（出展イベントの選別やPR内容の検討）等）を行う。

③ 市民を巻き込んだ観光振興の推進

「あくね観光サポーター制度」の創設に向けた検討・調整を行う。

4 各事業のスケジュール及び役割分担について

別紙のとおり